

皆さん、こんにちは。短くお話したいと思います。私はカッペロさんとここに参りまして、実業家として、また在日イタリア商工会議所の代表として参りました。簡単に産業スタンダードの問題についてお話したいと思います。これは一つの関税外障壁とも言えます。産業の規格についてです。高い技術が用いられた製品に関連することです。ヨーロッパ、イタリアが今使っている製品の規格は今は日本のそれと似ています。今その標準化というものが世界の実業家同士で話し合われています。ところが今のところ、100%同じというわけではありません。ですので、非常に手間のかかる認証試験を通さなければならない。そしてたくさんの書類も必要となっています。産業の規格が同じでない為にそういったことが起きてしまいます。現場で話すような言葉使いで申し訳ありませんが、徐々に規格の標準化というものを進めていくべきだと思います。ですから相互に同意できるスタンダードな規格というものを見つけ出すことが必要です。コンセプトや考え方が違うのでそれぞれの国のやり方も違うわけですが、それでもこれは両国の利益につながることは間違いありません。またエコロジーの分野におきましてもこういった標準化と簡素化というのは大いに貢献するわけです。例えば乗用車、トラックの自動車部品を作る業界を一つに取りまとめて、そしてまた別のグループでは建設、建築資材に係る企業を一つのグループにまとめて、規格の標準化に向けて作業していくことは非常に役立つと思います。経済の動向によって不況のときなどは継続していたものが止まってしまうことがあります。そういうときに、このような仕事をするのは役立つのではないかと思います。ありがとうございました。